

学生の皆さん

「2023年度 学生生活実態調査の集計結果とフィードバック」

近畿大学 学生部

2023年9～10月に実施しました「学生生活実態調査」へのご協力、ありがとうございました。今回の調査はすべてのキャンパスを対象に実施しましたが、10,064名もの学生の皆さんから、数多くの貴重な意見を寄せていただきました。すべての内容に目を通し、皆さんにとって近畿大学が、過ごしやすく、さらに勉学に励める場所となるよう、現在も様々な対応を検討していきます。

今回も、その結果を広く学生の皆さんと共有するとともに、代表的な意見に対してのフィードバックを記載しています。どのような声が多かったのか、これから近畿大学がどのように変わろうとしているのかなど、ぜひ注目してもらいたと思います。もちろん、ここで取り上げた以外の項目についても、検討を行っていきます。

今後も、大学として様々な形で皆さんの声を広く取り入れていきたいと考えています。学生の皆さんからの積極的な意見・協力を期待しています。

<調査の概要>

1.調査票の作成

2023（令和5）年7月から8月にかけて、学生部長補佐会議学生実態調査部門で調査内容の企画立案を行った。

2.調査の期間

2023（令和5）年9月25日(月)～10月31日(火)

3.調査対象

すべてのキャンパスに在学の全学部学生および短期大学生

4.調査の方法

学生ポータルシステム（近大ユニバ）のアンケート機能を使って回答

5.調査の内容

- ◇あなた自身、◇マナー、◇学習・クラブ活動、◇アルバイトや支出、◇学生生活、◇ボランティア活動、
- ◇学生相談、◇大学に対する評価、◇自由記述

6.調査・分析支援

株式会社 ベネッセ i-キャリア

<学生生活実態調査の集計結果>

○全キャンパスから、約3割の学生の皆さんに回答してもらえました！

- すべてのキャンパス合計で1万名を超える学生の皆さんに協力してもらえ、回答率としては約3割となりました。忙しい中ご協力いただき、ありがとうございます。
- 前回の調査に引き続き、この調査は近畿大学のすべてのキャンパスの学生の皆さんの声が集まるものとなっています。それぞれのキャンパスの特徴を踏まえながら、どのキャンパスに通っていても共通して快適な学生生活を送ってもらえるよう、これからの大学改善のための貴重な参考資料とさせていただきます。
- これまでの調査結果との比較により、皆さんからのリクエストが大きく増えた項目については、どのキャンパスでもしっかりと検討し、改善を図っていく予定です。
- 学部ごとに回収率は異なりますが、それぞれの学部の教職員で結果は共有しています。次回の調査の際にも、ぜひ積極的に協力してください。

(1) 調査方法と実施時期

調査方法	学内で告知し、ユニバーサルパスポート上で回答
実査時期	2023年9月25日(月)～10月31日(火)

(2) 回収サンプル数

調査対象	全学部全学年の学生
回収数	10,064名（詳細は下表参照）

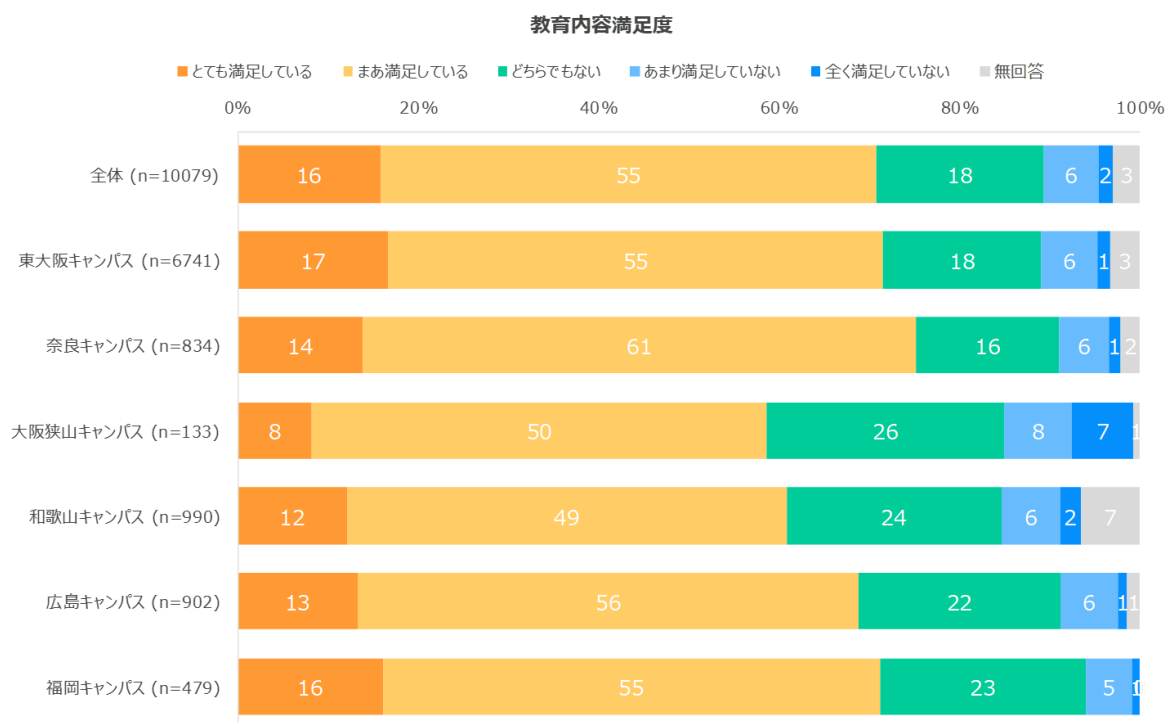
	法	経済	経営	理工	建築	薬	文芸	総合社会	国際	情報	短期大	東大阪計
全学生数	2,096	3,207	5,648	4,508	1,220	1,080	2,186	2,173	2,130	674	182	25,104
回答者数	643	1,020	739	1,837	221	316	365	464	461	590	85	6,741
回収率	30.7%	31.8%	13.1%	40.7%	18.1%	29.3%	16.7%	21.4%	21.6%	87.5%	46.7%	26.9%

	農	医	生物理工	工	産業理工	総合計
全学生数	2,828	699	1,894	2,207	1,692	34,424
回答者数	834	133	990	902	479	10,079
回収率	29.5%	19.0%	52.3%	40.9%	28.3%	29.3%

<調査結果の特徴とフィードバック>

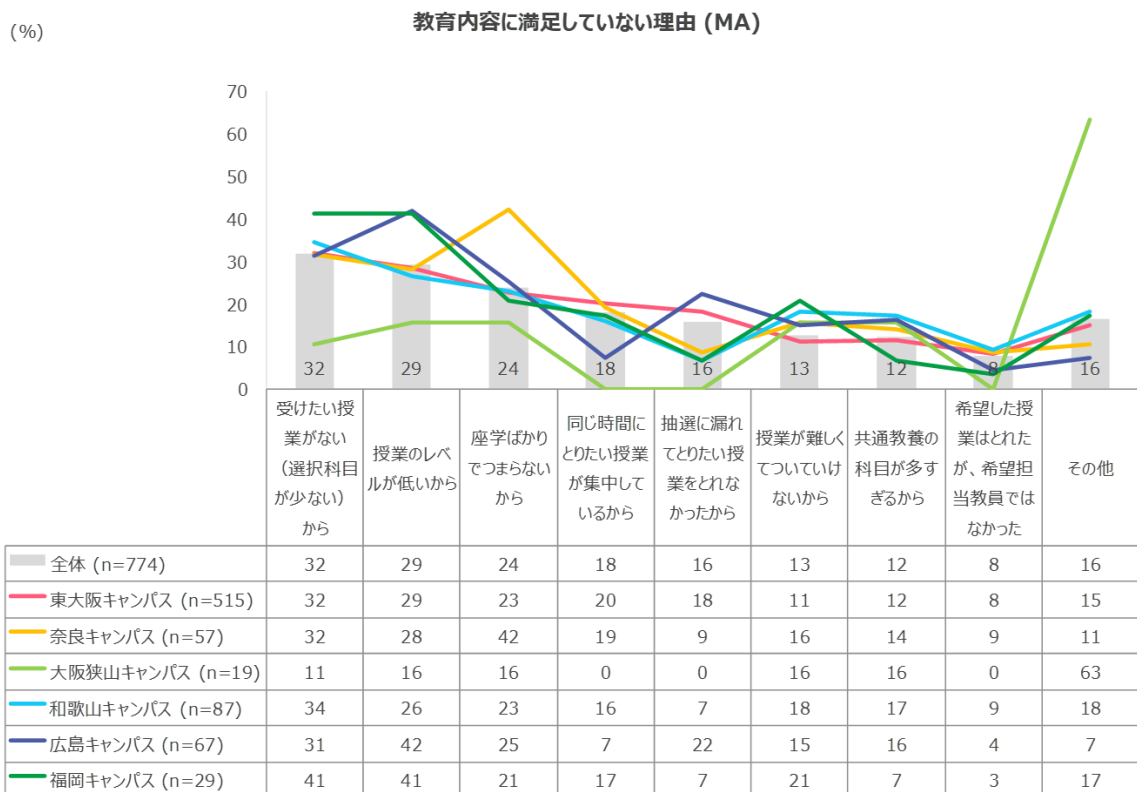
○教育内容も、施設・設備も、さらに改善していきます！

- 今回の調査でも、本学の教育内容について、多くの皆さんから「満足している」という声をもらったことは、大変うれしく思っています。

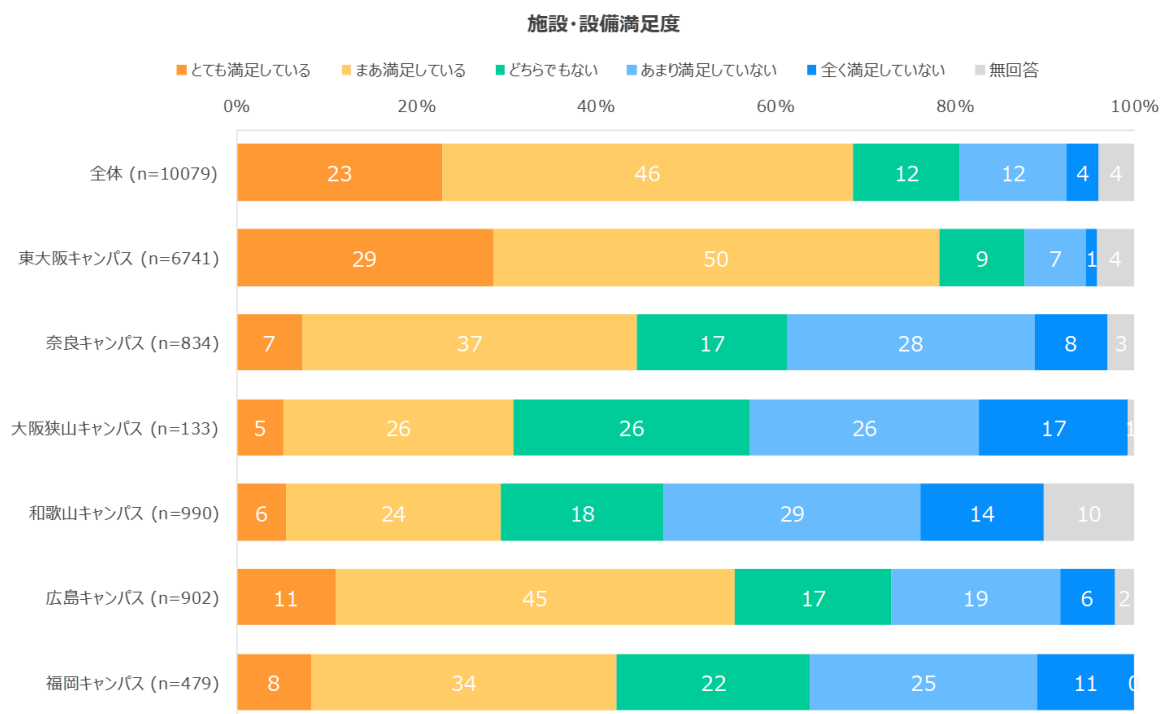


- しかし、近畿大学としては、その声に満足することなく、これからも皆さんのさらなる成長につながるような教育を提供できるよう、改善を重ねていきます。その際、キャンパスごとの特徴もしっかり確認していきます。
- 例えば、教育内容に対する「満足していない理由」では、キャンパスごとの特徴があらわれています。奈良キャンパスでは「座学ばかりでつまらない」という声が多いのに対し、広島キャンパス、福岡キャンパスでは「授業のレベルが低い」という声が目立ちます。さらに、広島キャンパスでは「抽選に漏れてとりたい授業がとれない」という不満が他のキャンパスと比較すると多いようです。フリーアンサーにも、具体的な改善要望の声ももらって

ます。なぜそのような不満が出てしまうのか、またその改善のためにはどのようなことをすればよいのか、それぞれのキャンパスの教育内容や特徴とあわせて、検討を進めていきます。



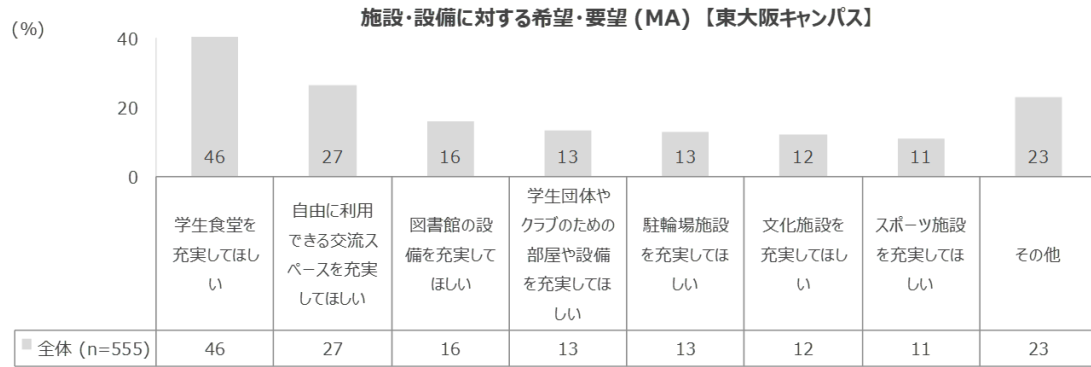
➤ 教育内容以上に、施設・設備については、キャンパスごとの満足度が大きく異なるようです。



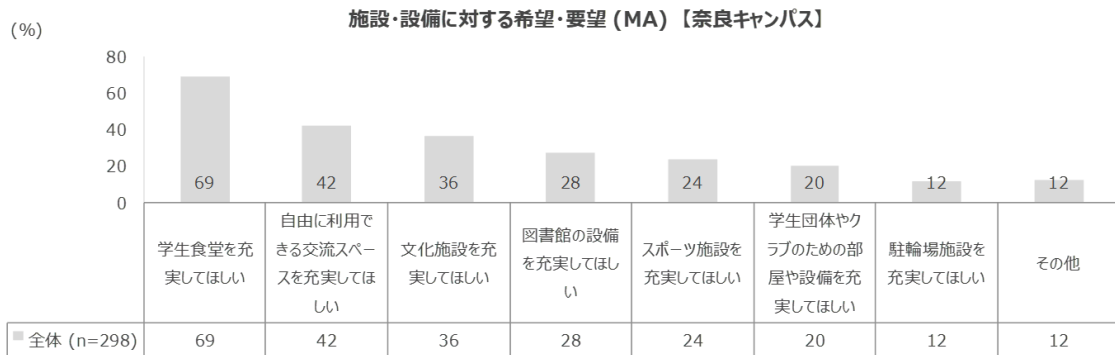
➤ この点についても、フリーアンサーに書いてもらった内容も確認しながら、どのようなことから改善できそうか、それ

それぞれのキャンパスの現状確認とあわせて、検討していきます。

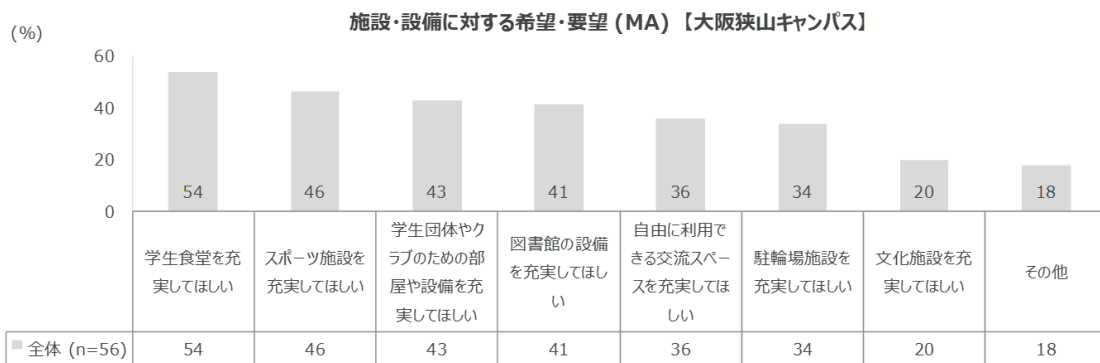
- 各キャンパスに共通するリクエストとしては、「学食の充実」があるようです。コロナ禍が落ち着き、皆さんがキャンパスで過ごす時間も増えているので、学食の重要性もこれまで以上に高まってきていると理解しています。



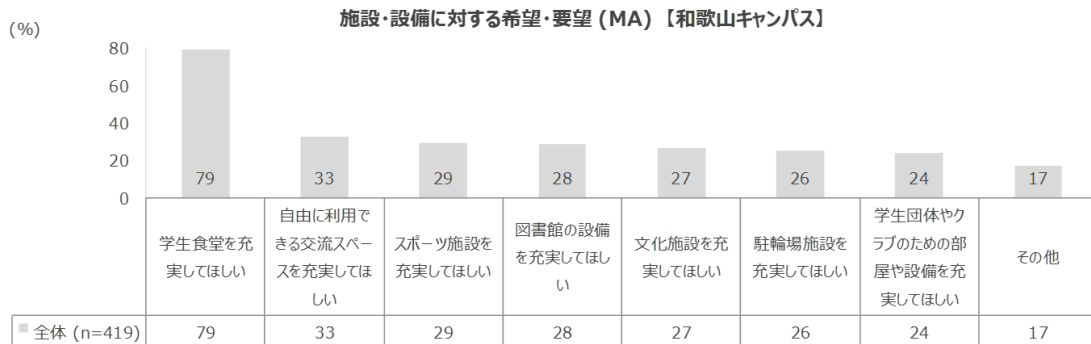
※ベース：キャンパス内の施設・設備に満足していない / 全体の降順で並べ替え



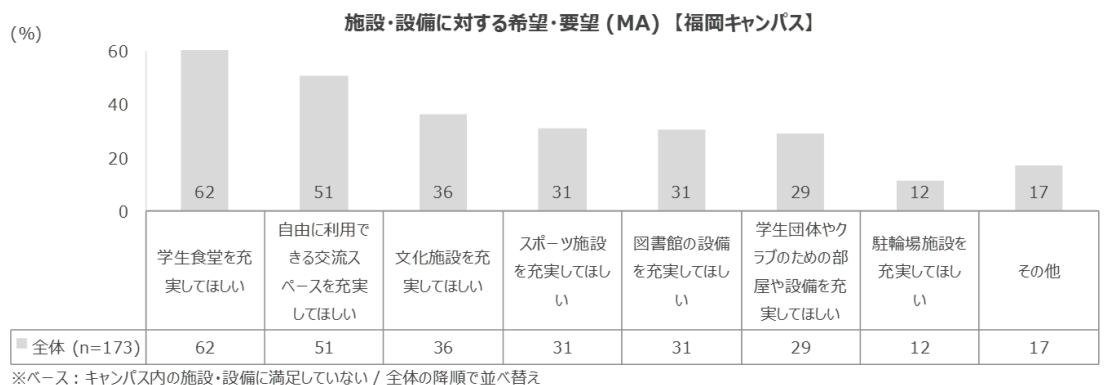
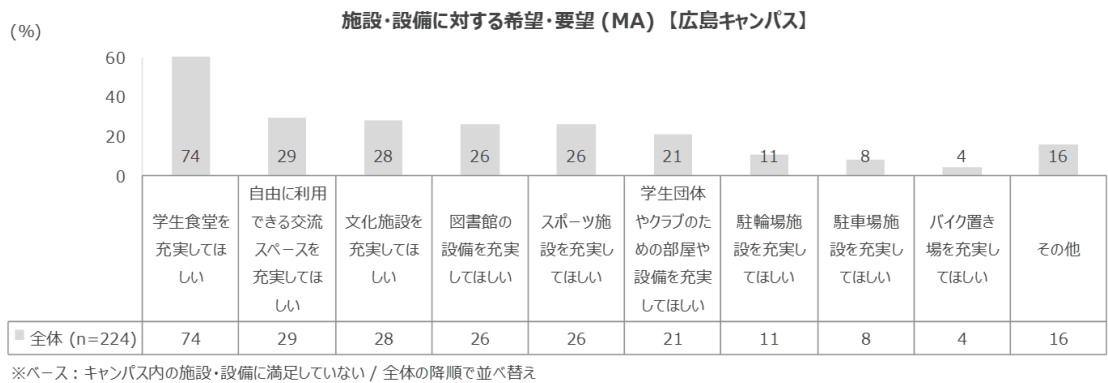
※ベース：キャンパス内の施設・設備に満足していない / 全体の降順で並べ替え



※ベース：キャンパス内の施設・設備に満足していない / 全体の降順で並べ替え

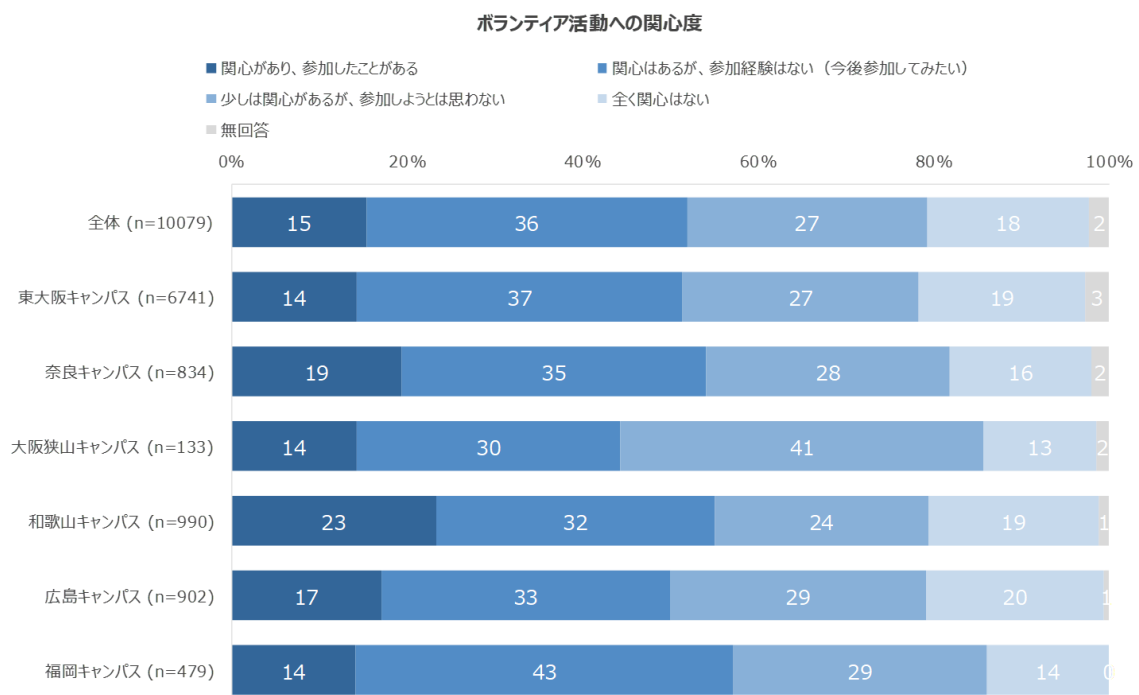


※ベース：キャンパス内の施設・設備に満足していない / 全体の降順で並べ替え



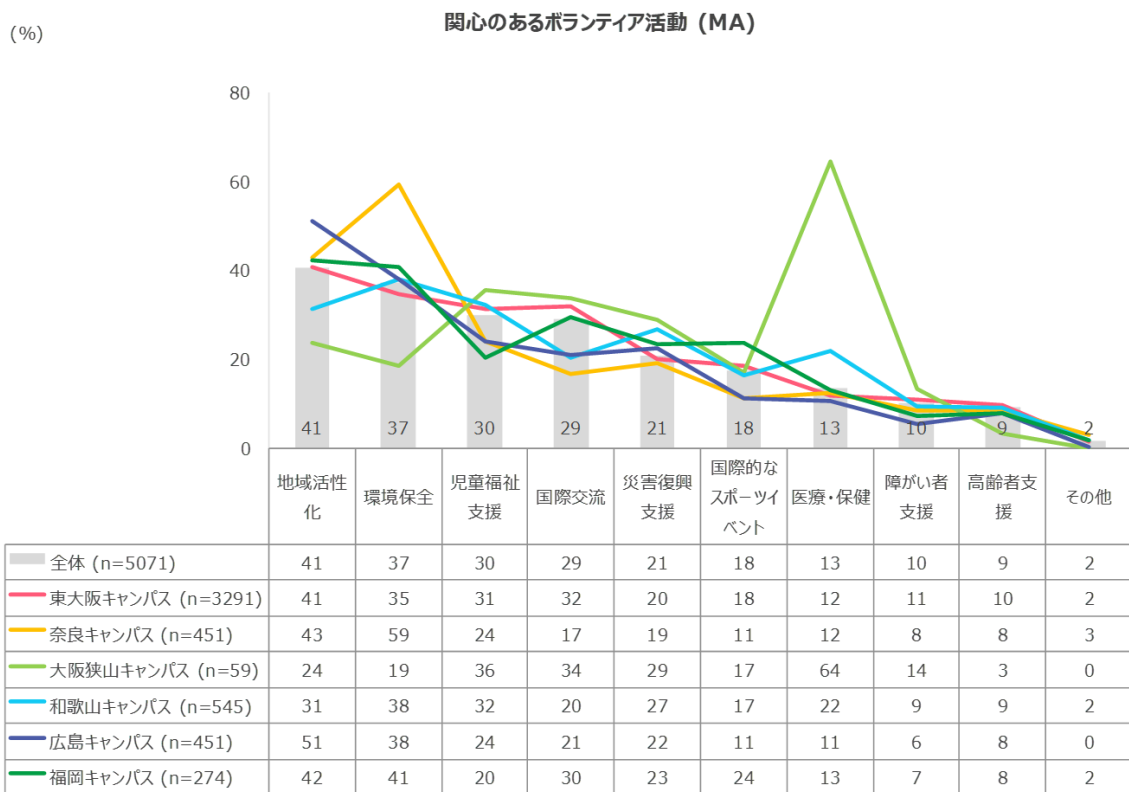
○皆さんの関心に合わせたボランティアの機会も、提供していきます

- 今回の調査で、多くの皆さんがボランティアに関心を持っていることが確認できました。



- さらに、今回の調査を通じて、キャンパスごとに関心のあるテーマが違うということを教えてもらいました。例えば、

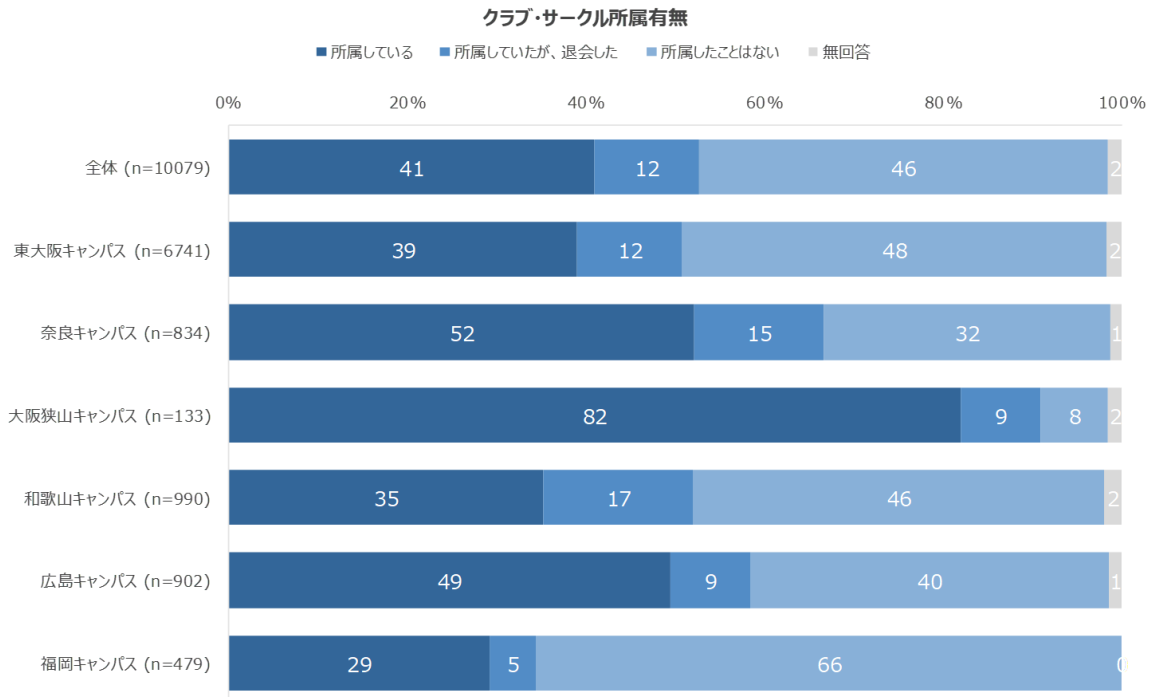
奈良キャンパスであれば「環境保全」、大阪狭山キャンパスであれば「医療・保健」、広島キャンパスであれば「地域活性化」といったように、それぞれのキャンパスの特徴が現れるような結果になっています。



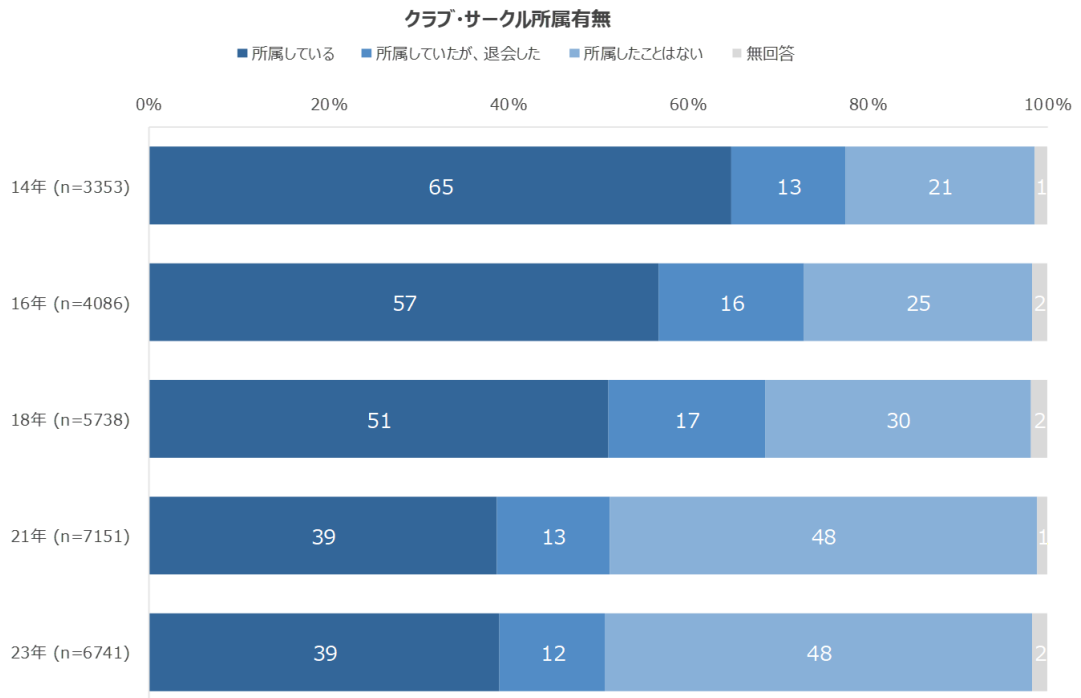
- 今後、学生部ではボランティアの機会の提供を強化していきたいと考えています。その際、今回の調査結果を生かして、皆さんの興味関心に合わせたものにできるよう、工夫していきます。
- ボランティアに関しては、令和6年4月1日に「近畿大学学生ボランティアの基本方針」と「ボランティア情報の取り扱いに関する指針」の2つのガイドラインを制定しました。これらのガイドラインに沿って、学生の皆さんが参加できるボランティアの機会を提供していきます。

○クラブ・サークルに関する相談は学生部まで！

- クラブ・サークルに所属しているかどうかは、キャンパスによってかなり差があるようです。



- また、例えば東大阪キャンパスではクラブやサークルに所属している人の割合は減少傾向であり、コロナ禍が落ち着いた今回の調査でも、所属割合が回復していないように見えます。



- もちろん、学業に専念していたり、アルバイトや旅行・趣味などに時間を使っていたりして、学生生活が充実しているようであればまったく問題ありません。しかし、もし自分に合うクラブ・サークルがうまく見つけれなかったり、

新入生勧誘期間に入りそびれて悩んでいたりするようであれば、学生部・スポーツ振興センターに相談に来てみてください。

- 近畿大学の公式ホームページで、クラブ・下部団体の紹介をしています。また、クラブの公認の在り方や、運営方法などについても、近畿大学学友会連合会を中心にクラブ・下部団体に係る規約等の改善に向けた見直しなども行ってきました。クラブやサークルについて改善したいことがあれば、学生部・スポーツ振興センターも積極的にサポートしていきたいと考えています。

○これからも、皆さんの声を聞かせてください！

- ここに記載したこと以外にも、本当に数多くの皆さんの声を聞かせてもらうことができました。本学に満足しているという声や、教員や職員に対する励ましや感謝の声もたくさんもらっています。その反面、厳しい指摘や改善要望などももらっています。
- この調査についても、「ちゃんと内容を確認しているのか」「実際に改善されなければ意味がない」といった声がありましたので、このような形で皆さんにフィードバックをさせていただきました。
- 今回の調査結果を踏まえて、学習、学生生活の両面で、学生の皆さんが充実した日々を過ごせるよう、教職員一同改善に取り組んでいくよう検討を重ねています。今後もアンケートをはじめとして、さまざまな機会や方法で学生の皆さんの声を集めていきたいと考えていますので、これからも積極的に協力してください。

以上